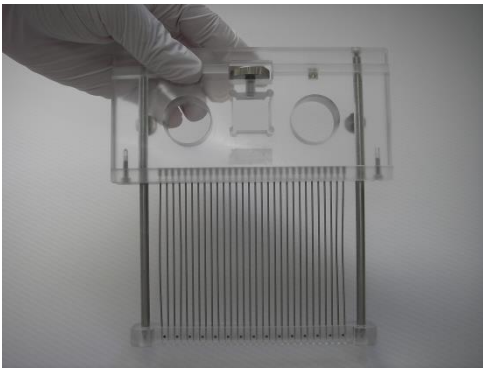


## <切り出し補助器具 使用方法>



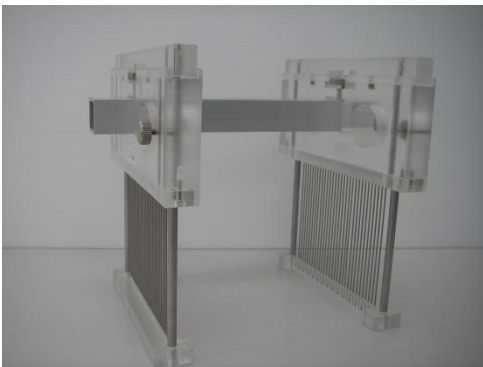
### 使用方法 1

- 切り出し補助器具 2 台と連結棒を用意します。



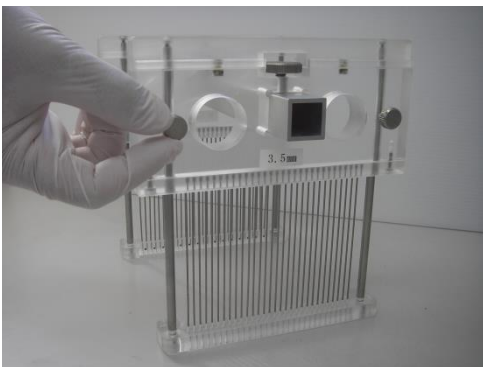
### 使用方法 2

- ローレットノブ(大)を緩めます。  
(本体横のローレットノブ(小)が外側に来るようにする。)



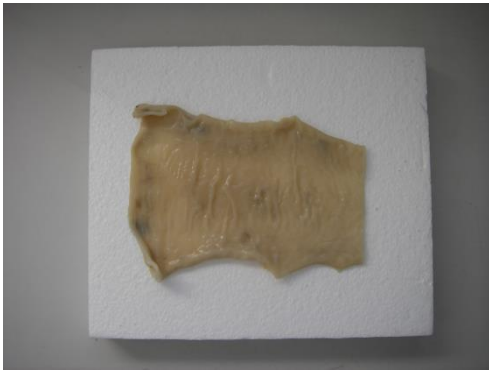
### 使用方法 3

- ローレットノブ(大)の下の四角穴に連結棒を差し込み検体病変部の幅に合わせ調節します。
- ローレットノブ(大)を締めます。



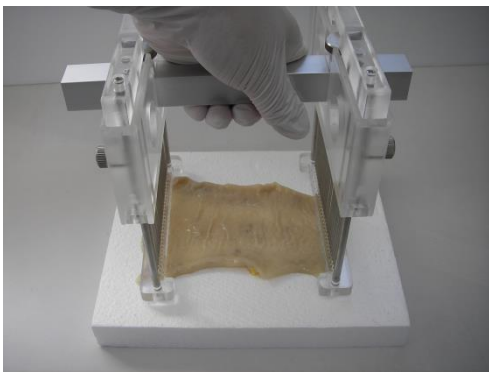
### 使用方法 4

- ローレットノブ(小)2 対を緩めます。



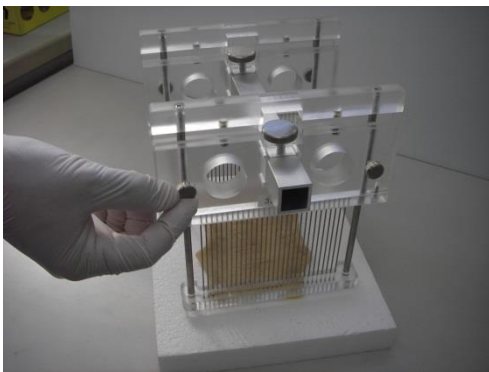
#### 使用方法 5

- ・発泡スチロールに検体をのせます。



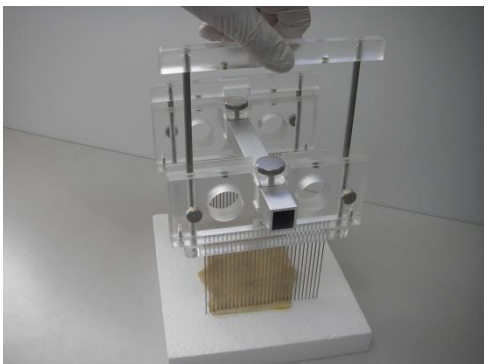
#### 使用方法 6

- ・連結棒を握り垂直方向に力を加えます。  
(対象物からの抵抗で針先案内板とスライド板が次第に押し上げられるが、針は対象物を貫いて進む。)



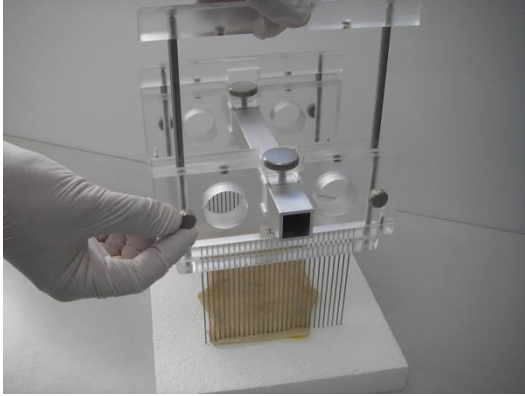
#### 使用方法 7

- ・対象物に針が刺さり、さらに発泡スチロールに数ミリ進入したことを確認する。



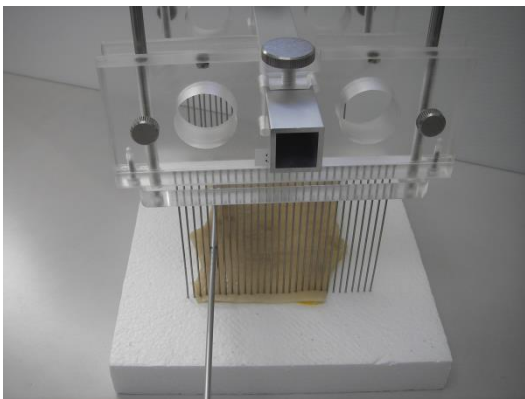
#### 使用方法 8

- ・スライド板を完全に上まで引き上げる。  
(針先案内板が上昇し、針先が露出した状態となる。)



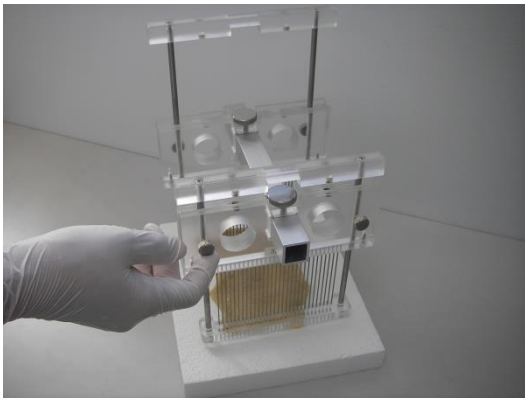
#### 使用方法 9

- ・ローレットノブ(小)2対を締めます。  
(針先案内板が落下するのを防ぐ。)



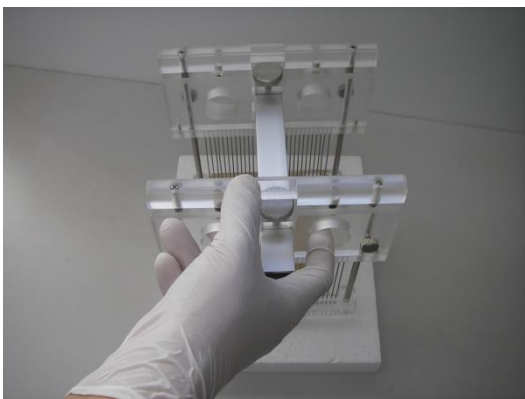
#### 使用方法 10

- ・トリミングナイフを対応する針と針の間に差し入れ、針に沿って垂直にナイフをおろし切断する。(ナイフを針の右側に沿って下す場合は、左から右へスライスするとよい。針の左側に沿って下す場合は、逆に右から左へスライスする。)



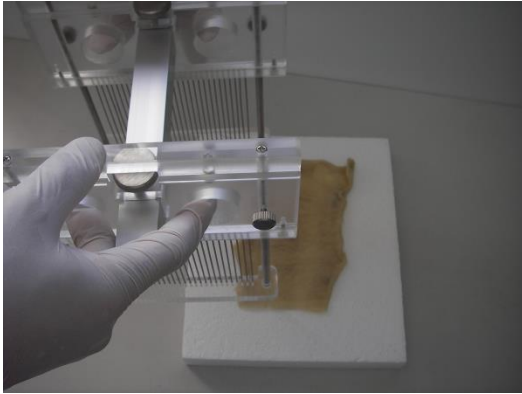
#### 使用方法 11

- ・切断が終了したら、ローレットノブ(小)2対を緩めます。



#### 使用方法 12

- ・本体に空いている穴とスライド板を親指と人差し指で掴む。  
(指を近づけることにより、対象物から針を抜き去る。)



### 使用方法 13

- ・針先案内板を固定するローレットノブ(小) 2 対を締めます。  
(針先を保護した状態にする。)

以上。

- ・針は個別に交換可能です。